



関西支部報

http://www.jackansai.com

支部長2期目を迎えて

金井良碩

去る4月26日の関西支部総会において、平成29・30年度の支部長に選出されました。前年までは、前任者の残任期間の補充の形だったので、改めて選任されたことを厳粛に受け止めております。あわせて、支部規約の改正をお願いいたしました。きっかけは、昨年10月から施行された準会員制度の創設にあります。新制度の実施に伴い支部規約の改正が必要となりましたが、この機会に、より多くの支部会員の皆さんに支部運営にかかわっていただきたいと考えたところです。

これまで20人余りの支部委員で、関西支部の運営をやってきましたが、この度の支部規約改正により、支部運営にかかわる役員会と業務を実施する委員会とに役割分担を図り、意思決定の迅速化を図るとともに、それを実施する委員会メンバーを拡充したもので、より円滑に支部活動が行えることを目指すところです。役員会をコンパクトにすると同時に、委員会に準会員や支部会友の参加を可能にして、より多くの方々の参画に期待する制度に改正いたしました。

昨年は日本の登山界において大きな節目を迎えまし

た。一つは山の日の施行であり、一つはマナスル初登頂60周年でありました。この年に関西支部は、設立80周年事業の一環である東ネパール登山隊を派遣し、重廣恒夫前支部長を隊長とする登山隊は、ナンガマリII峰の初登頂を成功させました。関西支部にとっても、誠にエポックメイキングな年であったと感じております。

私はあらゆるスポーツの中でも、登山ほど文化的なスポーツはないと思っております。山岳図書という分野が存在しますが、他のスポーツでは技術書はあっても、山岳図書のように紀行文はもとより、自然観に論述する世界への展開は少ないと考えます。

中でも、広く一般大衆に好まれて読まれてきたのは、深田久弥さんの『日本百名山』ではないでしょうか。約30年前に、重廣恒夫さんは、百日余りで百名山の一筆書きを達成されました。このことにより、百名山ブームとともに、中高年の山登りが活発化して、空前の山登りブームが起こりました。重廣さんは、この機会に『エベレストから百名山へ』（2003年6月刊 光文新書）という書物を上梓されました。ただ登るだけにとどまらない、登山

夏季懇談会のご案内

恒例の夏季懇談会を下記の通り開催します。多数のご参加をお待ちいたします。

日時 8月23日(水)18時～

会場 TKP大阪梅田駅前ビジネスセンター 6階
大阪市北区堂山町17-13 梅田東宝ビル

演題 「テンカンポチェ6499m」
大阪府山岳連盟創立70周年記念海外登山

講師 岩田修一氏(隊長・関西雪山山岳会所属)

講演終了後、講師を囲み懇親会を行います。(会費5千円)

出欠を同封の葉書で8月10日までにお知らせください。

支部長2期目を迎えて	金井良碩	1
平成29年度関西支部総会報告	中村三佳	2
山行引率者研修会	山内幸子	3
関西支部と私(24)	金澤康夫	4
支部山行報告		4
▽阿寺・白草山▽寺田小屋山▽テーピング講習▽北撰・高代寺山▽知明山▽景境縦走・茶臼山▽出合▽比良・蛇谷ヶ峰▽六甲全山縦走2▽景境縦走・出合▽俱留尊山▽千丈ヶ嶽・郷路岳・三岳山▽可児・鳩吹山▽北撰・高岳から三草山		
東お多福山草原復元活動	斧田一陽	10
日本の山岳画集 その1	嶋岡 章	11
平成29年度日本山岳会関西支部総会		12
会務報告		15
新入会員・新入会友紹介		16
支部山行計画		17
自然保護行事		19
改正(公社)日本山岳会関西支部規約		19

目次

の文化的な側面を示されたものと敬服しております。百名山については、その後もより短期間で達成する競争は続いているようですが、ただの記録更新にとどまり、この時ほどの感動は生まれません現状です。

関西支部では、山岳図書の「著者と語る会」を「支部蔵書の虫干し」と称した時代から継続して実施していますが、今日まで、重廣さんら20名あまりの方々のご講演を賜ったところです。このような取り組みは、他の支部では少なく、登山の文化性を尊重する関西支部独自の姿と考えます。関西支部80周年記念誌の巻末に、「関西支

部在籍会員著述図書目録」を示していますが、このような企画は他では見られないものと誇られます。

私は、幅広く、多面的に山を楽しむ関西支部の運営に取り組みたいと考えております。特に、登山の文化面に着目した活動や、自然保護の活動は公益法人としての存在価値を示すうえで極めて重要です。「山に親しみ、山を讃え、登山を培い、人を育む」山の日の思想に照らし、多くの方々の参加がいただける関西支部活動を目指してまいりたいと考えております。支部会員の皆様の積極的なご支援をよろしくお願い申し上げる次第です。

平成29年 関西支部総会報告

中村三佳

平成29年4月26日午後6時30分よりTKP大阪梅田駅前ビジネスセンター6階にて平成29年度日本山岳会関西支部総会が開催されました。今回は、これまでのホテルグリーンプラザ大阪・アネックスから会場が変わりました。

初めに金井支部長の挨拶があり、東ネパール初登頂や県境縦走の完結、事業遂行のための募金協力に対するお礼、3年にわたる80周年記念事業が海外登山の報告書を残して完結したことなどの話がありました。

議事は茂木副支部長により進行されました。まず、釘本委員から28年度の活動報告、辻委員から28年度の会計報告、それに対して中村監事から会計監査は適正であるとの報告がありました。次に水谷副支部長より、今回の重要議案のひとつである関西支部規約改正について現行規約と改正案を照らし合わせながら説明がありました。「準会員」という新しい制度ができます。さらに平成29年・30年度の役員及び監事の推薦・候補者の紹介がありました。引き続き釘本委員から平成29年度の活動方針案、辻委員から平成29年度会計予算案の報告がありました。その中で、公益事業のひとつである登山教室の開講日を平日から土曜日にすることにより、幅広い層の参加者を募り、会員の掘り起しとともに会員、準会員、会友の増加に努め、収入を見込むことなどが話されました。すべての議案が全員一致で承認され、それにより改正関西支部規約は4月26日から施行されることとなりました。

その後、会場を8階に移し、新本理事の司会で、重廣会員の乾杯の音頭とともに懇親会が立食形式で始まりました。総会での緊張した雰囲気とは一変し、会員のみなさんの和やかな歓談が終始続きました。会場には新入会員の顔もあり、先輩会員から温かな歓迎を受ける場面もありました。午後9時、金井支部長の挨拶で閉会となりました。

ました。



【総会参加者】

新井浩 新本政子 井関正裕 伊原哲士 岩崎しのぶ
魚津清和 大津陸郎 岡田輝子 斧田一陽 金井良碩
瓦葺邦夫 釘本武昌 久保和恵 黒田記代 小寺佳美
阪下幸一 重廣恒夫 柴田美生子 城隆嗣 助川征 高
木知子 田頭夏子 竹中雅幸 竹森壮孝 田島聖子 辻
和雄 中島隆 中村久住 中村三佳 野口恒雄 野村珠
生 橋本圭之輔 平井一正 平林克敏 前田正彰 馬島
有美 松波幹夫 水谷透 宗實慶子 宗實二郎 茂木完
治 山内幸子 山本義博 阪上茂生 田中アキエ 横山
規江 計46名

欠席者の便りから

□91歳 年齢相応に登山、スキーつづけております。

4738 高石清和

□東お多福山草原保全再生事業も10年目を迎えます。根笹林だった東お多福山が以前のようなさわやかな草原に戻りました。三季にそれぞれ草木が咲きハイカーの目を楽しませています。ススキも文化財の修復に活用されています。あなたも一度、東お多福山を歩いてみませんか。

5262 桑田 結

- 旅行予定と重なり、申し訳ありません。
5314 金井健二
- 老境に至り、心身の不安もつのがり残念ながら欠席いたします。皆さまによろしくお伝えください。
5590 塚崎義人
- 春スキーから春山へ連休にかけての小屋の準備に信州に出かけます。総会出席出来ず申し訳ありませんが、皆様に宜しくお伝え下さい。
7903 仲西輝一
- 4/27は上高地開山式に出席するため総会は欠席します。関西支部のご活躍をお祈りします。
8494 安井康夫
- 4年前に脳卒中になり、少し足が不自由になりました。それでも一昨年は那須に登りました。ぼちぼちとやっています。
9633 轟昌一郎
- 当日、飛騨一の宮へ旅行中なので欠席します。御盛会

- を祈ります。
11592 黒田守彦
- 相変わらず元気にやっています。いろいろと役職が多く、又仕事も多忙、又々不参加です。盛会をお祈りします。
14556 大川哲次
- 仕事都合により欠席させていただきます。本年度～次年度の新卒対応に追われる日々ですが、束の間の休みには山に入りたいと切に願いながら過ごしております。
14595 村田かおり
- 1月、2月と大阪府山岳連盟パーソナル委員会の山行に参加し、久しぶりに雪山(といっても氷ノ山と伊吹山ですが)に行きました。パーティの足並みについて行けず、悔しい思いをした山行でした。
15628 永井 和

山行引率者研修としてセルフレスキュー研修会開催

場 所：芦屋ロックガーデンA懸と中央稜の周辺
日 時：平成29年3月26日 AM9：00～PM14：10
【講 師】重廣恒夫(事故者役：立野里織)
【参加者】辻和雄 久保和恵 竹中雅幸 魚津清和
山内幸子 計5名

- I レジメに沿ってレクチャー(A懸前)
- ・一般登山者のためのセルフレスキュートレーニング
望ましいリーダー像、リーダーの心構え、リーダーに要求されること、セルフレスキュートレーニングの要点など
 - ・スタッフの用務
参加者の確認、準備体操、行程説明、行動中の注意点の説明、休憩の取り方、休憩時の動作確認、状況判断、整理体操、担当部署への登山終了の連絡など
 - ・事故発生時の対応要領
歩行中のメンバーの状況確認、異常を認めた場合、救

- 急車などの要請が必要と判断した場合、救助要請時の伝達事項、自己搬送の場合、事後処理
- ・スタッフが携行すべき応急セット
 - II 転落者救助の実地訓練(中央稜周辺)
 - ・講師のリュックサックに入れている救急用品の披露
 - ・自力救助
ロワーダウンや引き上げ方法、チェストハーネス・シットハーネスの作り方と装着、ザック・ストック・雨具を利用した背負い搬送、ロープを利用した背負い搬送、1:1(逆V型)・2:1(V型)・3:1(Z型)の引き上げ方法、クローブヒッチとムンターヒッチ
 - III レジメによる復習
- ※今回参加できなかった山行引率者のために平成29年度も実施する。 [山内幸子]

第33回全国支部懇談会

参加申込みについて

茨城支部主催で10月13～14日(金・土)に開催されます(詳細「山」No.861 2017年2月号)。所属支部による一括申込としますので、参加希望の関西支部会員は支部懇談会参加費と明記の上、7月7日迄に参加費17,000円を下記の口座へお振り込みください(支部会友参加不可)。この入金をもって参加申込の受付とします。

郵便振替口座番号：00980-3-166138

口座加入者名：日本山岳会関西支部第2口座

80周年記念事業募金者芳名一覧(最終)

【会 員】100,000円：武藤文隆

【会員外】100,000円：(特)科学工学技術委員会

(2017年3月31日締切 累計9,900,000円)

関西支部と私(34)

関西支部での思い出

金澤康夫

一昨年5月に開催された関西支部の創立80周年記念式典で、支部在籍40年以上のメンバーに名前を連ねてもらい、是非とも参加いたしたくJACのバッジを探し出して用意しておりましたが、急遽都合が悪くなってしまい参加することができませんでした。

思えば、1971年にJACに入会させてもらった時は、会報「山岳」のバックナンバーを創刊号から揃えていた頃でした。当時、新年の懇親会が住友クラブで行われておりまして、古参会員の諏訪多栄蔵さんや四谷龍胤さん等と話をさせてもらったのが懐かしく思い出されます。その後、会社の転勤で関西を離れ、暫くは支部の行事に参加できませんでした。

関西に戻ってからは、スケッチの会に入れてもらって、ベテランの田中邦彦さん等の指導を受けたことが、その後のスケッチ行に大いに役立ちました。現在活躍しておられる、メンバーの方々にもお世話になりました。阿部和行さんもスケッチが得意で福井県の奥まで泊まりがけでスケッチ旅行に行ったことがあります。ネパールヒマラヤのトレッキングに出掛け、ランタン谷やカトマンズの寺院等を描いたスケッチから30点ほどを、ルームに展示させてもらったのも懐かしい思い出です。

図書交換会も楽しみでした。欲しい山書を市価よりかなり安く購入させてもらいました。時には山岳会の古い部会報をダンボール箱に纏めて分けてもらったこともありました。

山行では、笹ヶ峰の京大ヒュッテをベースに火打山、妙高山に登ったのが忘れられません。家内も一緒に参加させてもらって、大変お世話になった事を今でもよく話題にしております。久保三朗さんがエプロン姿で料理を色々作って下さったのが印象的でした。久保さんとは、その後、3支部のスキー行に一緒させてもらい、山とスキーの楽しみ方を新たに教えてもらった様な気が致します。

日本山書の会にも在籍しておりまして柏木宏信、山田博利、野口恒雄さん等にも随分お世話になっておりました。山書の会から戦前に活躍した住友山岳会の登山史『住友の山と人』を出版させてもらいましたが、これを纏めるにあたり、戦後間もない頃の支部会員であった大島輝夫さんにご協力いただき、厳父の大島堅造さんが当時の住友山岳会の会長であって、関西支部発足当時のメンバーでもあったことを知りました。山書の会で関西三国界の踏破登山をしました時には、関西支部からも参加して頂き、奥美濃の三国ヶ岳には宗實慶子さん、大台ヶ原の堂倉山には金井健二さんにそれぞれ参加して頂いております。お陰で関西三国界23座は無事踏破することが出来ました。

山書の蒐集に夢中になっておりまして、いつの間にか書齋から本が溢れ出る始末で、先日も金井良碩さんが「関西学生山岳連盟報告」のバックナンバーを借りに来られた時には、落ち着いて座ってもらえるスペースを作るのが大変でした。実は、この報告書は昭和6年に創刊され昭和43年の第15号で刊行が止まっています。全冊揃っているところは少ないようで、以前同志社大山岳会の八十年史を編集されたときにもお貸しした経緯がありました。その縁で同会の記念誌『山その大なる旅』を頂いております。今回は神戸大の百年史『山と人百年』を送付してもらい、共に膨大な記念誌を頂き、所蔵する山書が少しでもお役に立っていることを喜んでおります。

滋賀県の湖西に引っ込んでからは、食道と咽喉の手術をしまして食物の飲み込みが出来難くなり、皆さんと食事のベースを合わせる事が難しくなって懇親会にもご無沙汰しております。今は、山の水墨画を描いたり、近江や比良山系の山をのんびり歩いております。

(会員番号7255 受理2017/4/4)

支部山行報告

支部山行16-4 4000山グランプリ

阿寺山地

白草山～箱岩山～高森山・寺田小屋山

重廣恒夫

2016年5月3日(火)晴

早朝大阪を出発し、下呂駅からジャンボタクシーで御嶽御厩野林道を走り、白草山の登山口を経てゲートに到着する。ここから鞍掛峠まで標高差300mの単調な林道歩きとなる。昼食後、鞍掛峠に荷物を置いて三国山に向

かう。笹藪の道であるが溝状の踏み跡を追いかけると30分ほどで三角点のある頂上(1161m)に着いたが展望はない。往路を引き返すが途中でこれから向かう白草山や箱岩山が見えた。

鞍掛峠からは稜線につけられた登山道を白草山に向かう。途中、プレハブのある鞍部から登山道を少し下って取水した後、白草山(1641m)の頂に立った。立木の無い頂からは今なお噴煙をあげる木曾御嶽山やこれから向かう箱岩山など阿寺山地の360°の展望が広がる。

白草山から笹原につけられた緩やかな登山道を北上し箱岩山に向かう。最後に傾斜がきつくなりひと登りすると箱岩山の頂上(1669.1m)だった。北西方向に高森山が見えその先に1月に登った下呂御前山・寺田小屋山、その右手奥に2月に登った御前山が俯瞰できる。時間はまだ早い、テントが張れそうな平坦地はここしかないのが今日の宿泊場所とし、小宴の後眠りについた。夜半大雨となった。

5月4日(水)晴

雨は6時まで続いたので2時間ほど待機し、出発は8時前となった。高森山までは濃い笹藪となり、時折背丈を越える高さとなるが、下りの行程なので雨露の残る藪漕ぎを開始する。地図には道形があるが長らく廃道となっているようで、所々にその痕跡がある程度で気休めに過ぎない。北上した後、標高1600mから高森山へは西へと転換する。しばらくすると樹林帯に入り少しは楽になったが、高森山への登りにかかると再び濃い笹藪となった。しばらく笹を掻き分けた先に小さな山名板のついた頂上(1592m)があった。

計画では高森山からさらに岐阜・長野県境を北上し、



写真提供：重廣恒夫

1571m 地点から西進して寺田小屋山に縦走する予定であったが、期待した残雪もなく陽射しを受けてひかり輝く笹の海を見て断念した。下山は高森山から往路を最低コ

まで戻り、南西に下りている谷を下り黒谷林道に出ることにした。コルからしばらくは濃密な笹藪であったが、沢筋に入ると岩はゴロゴロしていたが藪からは解放された。途中には大きな滝もなく無事に堰堤取付道に下り立ち黒谷林道を下った。昼食の後、林道ゲートに荷物を置いて一般登山道から寺田小屋山(1505.1m)を往復しゲート前にテントを張った。

5月5日(木)晴

ゲート(タクシー)下呂駅

【コースタイム】

3日 御嶽御厩野林道ゲート10:21~11:26鞍掛峠~12:14三国山~14:14白草山~15:22箱岩山

4日 箱岩山07:40~09:24最低コル~09:55高森山~10:28最低コル~11:24二俣~12:40黒谷林道終点(白草山登山口)~13:07林道ゲート14:00~14:40寺田小屋登山口~15:38寺田小屋山~17:06黒谷林道ゲート

【参加者】

黒田記代 竹中雅幸 立野里織 野村珠生 松仲史朗
武藤文隆 茂木完治 重廣恒夫 計8名

支部山行16-39 レスキュー講座
テーピング講習
黒田記代

2017年1月28日(土) 13:00~16:00

会 場 弁天町ORC200生涯学習センター和室
講 師 重廣恒夫

捻挫、打撲、肉離れなどを起こした場合、医療機関の診察を受けるまでの応急処置として、また過去の怪我によってダメージを受けた部位をサポートし、再発を防止するためなど。

山行中のテーピングの目的は、負傷した部位を保護して支えつつ、機能に見合った最良の動きを可能にすることです。山行中の不慮の事故時に自分に、又は同行者にテーピングが施せるようテーピングの基礎知識の講義後、テーピング方法を動画で学習。その後、足首のテーピングの巻き方(非伸縮性)について、重廣講師からテープの切り方、アンカーの取り方、ヒールロックの仕方などレクチャーを受け、参加者各自実地練習を行った。

参加費 700円(会場費、資料代)

【参加者】

辻和雄 瓦葺邦夫 岩崎しのぶ 魚津清和 久保和恵
山内幸子 新本政子 黒田記代 橋本圭之輔 横山規
江 松波幹夫 会員外1 計12名

16-40ゆるやか山行 【里山探訪】
歴史と文化を訪ねる40
北摂 高代寺山から知明山へ

山内幸子

2月9日(木)雪

能勢電の山下駅に着くころから雨が霽に変わり、妙見口駅では雪となる。天候が悪い中、雨具やスパッツを着けて歩き出す。

高代寺へは、以前は竹藪の中の道を通っていたが、少し変わり歩きやすくなっており看板もしっかりとついている。高代寺への車道と合流し高代寺の本堂へ。本堂横の猪の檻に入っていた熊は、立派な熊檻を作ってもらい、熊を守る会?の人たちで世話をしているが、今回は冬眠中で姿が見られなかった。

高代寺は仁和寺の末寺で、北摂で最も由緒のある寺院であり、境内のボダイジュ、ムクロジの大木には樹齢1050年の立札がかかっている。

見学した後、お墓の横から直に高代寺山に取り付き、無線中継塔の横に二等三角点(488.5m)を見つける。雪の中で記念撮影後、来た道に戻り高代寺から自動車道を西方向に歩き新光風台から一庫ダムの方に向かう。知明湖畔に出るとダムと反対側に北上し、りんどう橋を渡り一庫公園入口まで長い自動車道を歩く。

一庫公園のネイチャーセンターの前で屋根のあるところを見つけてそれぞれが昼食をとる。助川氏の北海道土産のデザート付きで。

昼食後、雪の降る中を知明山に登る。稜線の東側をお天気であれば植物観察のできそうな傾斜の緩い谷道を歩く。雪に埋もれた落ち葉が積もる階段を踏み外さないように足元だけを見ながら一気に登って行き、階段がなくなるとまばらな木々の中を歩くゆるやかな稜線になるので周りを見る余裕ができる。目を足元から上に向けると雪のかぶった木々が目に入り思わず「わあー綺麗!」と声が出る。全員が立ち止まり雪の花が咲いたような木々の下で雪の世界に浸りしばし時を忘れる。この雪景色を楽しみながらゆっくりと歩いて知明山(349.1m)のピークに到着し、三角の屋根付きのシェルターの中に半分身を入れて記念撮影。

そのまま尾根を南下して一庫公園に戻り一庫ダムへと向う。R173と合流する辺りで長原からバスに乗る4人と別れて一庫ダムまで歩く。ここからバスに乗り全員揃って山下駅まで行き、川西能勢口駅にて解散。



知明山の頂上にて 写真提供：魚津清和

【コースタイム】

妙見口駅09:41～10:30車道出合～10:40高代寺～10:53高代寺山～12:11りんどう橋～12:30ネイチャーセンター前13:10～13:55知明山～14:36さくら橋～14:52長原バス停～15:09一庫ダム

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 浦上芳啓 岡田輝子
助川征 戸島泰三郎 橋本圭之輔 廣瀬健三 森沢義信
浅田博三 黒岩敦子 小林三喜男 田中アキエ 中田栄
蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 計18名

支部山行16-41 関西支部県境縦走47
茶臼山～長坂山～出合

黒田記代/山本義博

2月11日(土) 晴後小雪

榛原駅を過ぎた辺りから、小雪がちらつき、車窓から



茶臼山のNHK電波塔 写真提供：重廣恒夫

の景色が雪景色に変わる。名張駅に向かうほど積雪が増してくる。名張駅西口に参加者全員が集合。

出発時には小雪も止み、晴れてきた。名張川にかかる大屋戸橋を渡り、梅ヶ丘団地を目指し、雪がうっすら積もってアスファルト道路を歩

く。梅ヶ丘南四番町から県境稜線に上がるため藪山に入り、大きな池の傍から県境稜線に出た。NHKの電波塔のある茶白山に向う。茶白山を過ぎてからは小雪のちらつく中、笠間峠に下山。その後、県境から離れ、舗装道路をたどり赤目口駅に出た。

[黒田記代]

2月12日(日)晴時々曇

名張駅東口に集合し、タクシーで出発地点に移動した。昨山下山時には、歩いた山並みは雪帽子をかぶって真っ白であったが、今朝はすっかり雪が無く気温も昨日より高めに感じた。

歩き始めからかなりきつい登りとなり、途中からロープを使い急坂の上り下りでP413に到着。標識では城山となっており、この後のピークにもそれぞれ山名が書かれた標識がぶら下がっていた。

少し進むと、百地丹波城跡に着いた。この百地丹波と百地三太夫は別人であるが、両名とも実存し、三太夫は丹波の孫と言われているようだ。

ここから今日唯一の三角点である長坂山(点名徳光山)に向かったが、道幅も広く、標識も整備された登山道があり歩きやすかった。長坂山の手前で展望が開けた「長坂山ルートビューポイント」があり、昨日歩いた茶白山や名張市内が良く見える。

長坂山で記念写真を撮り、少し平坦な道を進んだ後、県境を外れ赤目四十八滝に向かったが、このルートもかなり急勾配でロープを使って下る。百畳岩に着き、ここで少し遅いが昼食となった。

サンショウウオセンターに下る予定であったが、次回の行程を考慮して出合へ向かうルートを取り、四十八滝を横目で見ながら進んだ。出合に到着しタクシーを呼ぼうとしたが電話が通じず、結果的に赤目温泉三水園まで県道を歩いた。

今回の県境縦走は寒波の影響で雪も多く、予定コースを少し外れたが、晴れ間に見えた名張・赤目の山々は非常に美しかったことが印象に残る山歩きであった。

[山本義博]

【コースタイム】

11日 名張駅08:49~11:38県境合流点~13:02茶白山~14:10笠間峠~15:59赤目口駅

12日 滝口橋07:21~11:22長坂山~13:22百畳岩~15:00赤目四十八滝出合~16:16山水園

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 立野里織 橋本圭之輔 山本義博
(11日のみ)黒岩敦子 11日6名 12日5名

支部山行16-42 比良山系を歩く 蛇谷ヶ峰901.7m

魚津清和

2月12日(日) 晴時々雪

冬型の気圧配置で琵琶湖周辺は大雪、雪崩、落雷注意報と気象条件の厳しい中、メールで参加者の意見交換が繰り返され、結果は当初計画通り畑バス停から登れる所まで雪中山行を楽しむことで意見は一致したが、当初8名であった参加者は当日5名となった。

集合地JR近江高島駅からは、コミュニティバスを利用して終点畑バス停で下車。到着時、畑周辺は快晴無風。装備点検後、舗装路を北に歩き始めるが集落内は、路面結防止に道路一杯に水が流れていて登山靴に水が入るのを防ぎながら注意深く歩く。ほどなく集落のはずれで100cm程の雪の壁に突き当たり、ここでワカン装着。この先、棚田が林道出合まで続くようだが一面雪景色の為、棚らしい起伏が分かるのみでGPSもコンパス、紙地図も準備万全、いざ出陣。

出足は、膝小僧程の沈みだったが棚越えには腰まで片足が沈み、慌ててストックを使うがストックも沈んでしまう。全身を使って何とか這い上がる事しばしば。林道へ合流するにも獣除けフェンス越えに難儀する。足場を固めるが、安易に片足を踏み込むとワカンが絡んで体を引き上げるのに一苦労。そんな時、リーダーは自分のザックを踏み台にしてフェンス越え。成る程と感心して後に続くが、フェンスを越えても着地にもたつく。持参したゾンデ棒で計測してもらくと140cm程もあった。

ラッセルで雪の海原を泳ぎながら？喘ぎながら林道出合に到着。当初計画より90分程の遅れ。ここで、リーダーからボボフダ峠までも無理と判断。林道沿いにスキー



大雪に行く手を阻まれリタイア 写真提供：魚津清和

ヤーのトレースがあることから、そのトレースに沿って昼食が出来るような場所を探しながら南西方向に歩を進める。12時過ぎ、風を避けられそうな地点があったので雪を踏み固め、雪降る中の至福の昼食？後は、林道沿いに残るトレースを辿りながら基幹林道入口に下山した。

【コースタイム】

JR近江高島駅09:04(バス)畑09:35～ワカン装着09:59～11:06堰堤横～11:39林道～12:09昼食ポイント12:30～12:38林道出合～基幹林道入口13:59(バス)14:16JR近江高島駅

【参加者】

久保和恵 山内幸子 岩崎しのぶ 野口恒雄 魚津清和
計5名

支部山行16-43 しっかり歩こう

六甲全山縦走2

大龍寺～市ヶ原～摩耶山～最高峰～宝塚

全2回にわたる六甲全山縦走は、カットしたところも無く完全縦走でした。 [山内幸子]



六甲山最高峰にて 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

2月19日(日) 元町07:55～09:50狸々池～09:10大竜寺～09:25市ヶ原09:55～11:35摩耶山(掬星台)11:55～13:10記念碑台～15:00六甲山最高峰～15:30東六甲分岐～16:25大平山～17:45塩尾寺～18:15阪急宝塚駅

【参加者】

山内幸子 辻和雄 水谷透 前田正彰 計4名

支部山行16-44 4000山グランプリ

2月25日(土)・26日(日)実施予定の「磯砂山」は、2月18日(土)・19日(日)「千丈ヶ嶽(大江山)」に変更するも悪天候のため中止

支部山行16-45 関西支部県境縦走47

赤目出合茶屋から国見山・俱留尊山

青木 昭/重廣恒夫

3月11日(土)

名張に8時39分集合だが1名出遅れで1時間待ち、さらにもう一人は特急で名張を通過、気付いた時既に遅し、今回は残念だが帰ってもらう。ようようのことで9名タクシーに分乗して赤目出合から少し奥の県境取っ付き手前まで入る。

出だしの急登は、直登組と迂回組に分かれてスタートする。迂回組A氏が遅れぎみで、迎えに来た重廣リーダーA氏のザックを背負い、先行組みにやっとのことで追いつく。そしてそのザックは、先頭を歩く立野さんのザックの上へ。

八幡山を過ぎ落合への急降下はロープで確保。落合バス停には予定よりずいぶん早く到着した。今夜泊まる紅葉亭はお隣、曾爾高原にあるお亀の湯まで送ってもらいのんびり温泉につかる。今夜の夕食はしし鍋だがすき焼き風の味付け、初めての経験で美味しかった。

[青木 昭]

3月12日(日)晴

宿の車で小太郎岩方面に向かう。適当な渡渉場所もなく1km程走り青蓮寺川に架かる橋を渡って河原を戻る。対岸の残留組に見送られてP674に突き上げている細い尾根に取り付く。尾根の右側はすっぽりと切れ落ちて所々に岩場も出てきたのでロープを結んで慎重に進む。辿り着いたP674の標高点からは南東に尾根筋を歩く。途中浅い沢筋の二股に出る。左股を辿ればショートカットできるが、ここは忠実に尾根筋を辿る。県境は、左にと屈曲してP713からは国見山に向かって緩やかに蛇行しながら南下する。途中のP809で昼食を摂る。天気にも恵まれ長閑な感じである。

昼食後30分ほど歩いて沢山の標識が掛かっている国見山(三国山)に到着した。ここから10分ほどで紅ヶ岳。細長いピークはカエデ類の樹が多く、美しい紅葉を見せることから付けられた山名だろうか？ここから大きく下ってP769を越えた辺りでモノレールに向かう道に入ったことに気づき、左にトラバースして県境に復帰する。東に大洞山から尼ヶ岳、三角錐の局ヶ岳が見える。俱留尊山に向かって高度が上がるにつれ、所々の窪地に残った雪を踏むようになるともう頂上は近い。二本ボツから下るにつれて曾爾高原の大きな広がりの方こうに亀山、古光山から高見山方面の展望が素晴らしい。ハイキング客

のいる亀山峠で県境を離脱し、青少年自然の家に向かった。
[重廣恒夫]

【コースタイム】

11日 出合茶屋09:57~11:08八幡山~13:24落合
12日 落合06:10(車)06:18橋~07:23県境復帰~08:47P674
~09:27二股~10:49中山~11:06P713~11:50P809~12:43
国見山~13:29P769~15:06俱留尊山~16:06亀山峠~16:53
曾爾高原バス停

【参加者】

久保和恵 黒田記代 村田かおり 立野里織 重廣恒夫
(11日のみ)橋本圭之輔 山内幸子 青木昭 黒岩敦子
11日9名 12日6名

支部山行16-46 4000山グランプリ
「千丈ヶ嶽(大江山)・郷路岳・三岳山」
久保和恵

3月18日(土)晴後曇

福知山駅から大江山の家までタクシーで入る。平成の大鬼(鬼瓦)を横目に。童子橋を渡り左岸に沿う道から、ゆるやかな谷筋を稜線に向けて登る。稜線手前の急斜面でイバラの群落に突入、ひっかき傷を負いながらやっと稜線に辿り着いた。腐った残雪に苦労しながら鍋塚(763.0m)に到着する。360度視界良好。さらに鳩ヶ峰、千丈ヶ嶽と続くふくよかな山並みに向かって下る。東屋とトイレがある広場に出た。休憩後、また黙々と登る。次なる鳩ヶ峰からの展望はさらに素晴らしく、遠く若狭の青葉山の双耳まで見えた。甘いもので力をつけていざ大江山へ。大江山山頂(832.5m)の展望も遮るものもなし。二等三角点は雪の下、この辺りだろうと足を置く。北方に磯砂山、兵庫・京都府県境縦走で歩いた山並みが見え懐かしい。目の前には赤石ヶ岳、江笠岳と続いている。日没が近いので先を急ぐ。山頂からはトレースがあり、鬼嶽稲荷神社に下り立った。大江山休憩所をお借りする。濡れた体にはとても有難い。

3月19日(日)曇後晴

郷路岳に向かう。濡れた靴に足を入れ再び雪の長い林道を大江山の家に戻る。タクシーを呼び黒見溪谷平田分岐まで入る。下車後、林道を30分ほどで登山口。展望台まで1.2kmの案内板を見て、登山道に取りつく。稜線に出てすぐに林道に合流する。山頂手前の広い雪原の真ん中に「民有林道郷路線開設記念碑」が立っていた。山頂まで僅かなのに時間がかかる。郷路岳(619.7m)は表示がなく三等三角点も雪の下。大江山連峰と違い高木が多いので展



やっと抜けたあ〜。鍋塚手前 写真提供：重廣恒夫

望は今一つだが、南方に三角錐の三岳山がきれいに見える。下りは東に向かう林道を進み、途中から但東町栗尾に向かう林道に入る。栗尾集落から国道426号線に出て、卵かけごはんで賑わう「但熊」、「百笑館」で卵と温いおにぎりを買って、タクシーに乗車。三岳青少年山の家(廃業)に移動した。玄関の軒先に2張りのテント設営。卵かけごはんに満足して就寝。

3月20日(月)晴

夜が明け、熟柿色の朝日に目を奪われた。今日は三岳山。ピストンなので不要なものはデポし、身軽になって登山道を歩き出す。急な傾斜が続き、次第に残雪が多くなり歩きづらい。534m地点から、スギ、ヒノキの混交林の中の尾根筋をとり、三岳神社を左下に見て登って行く。ますます深くなる雪に足や腰までめり込ませながらもやっと反射板に出た。三岳山山頂(839.2m)は針葉樹に覆われている。下山は自分たちのトレースをたどり、青少年山の家に戻った。タクシーが到着するまでに身づくろいをし、すっきりした気分でも福知山駅に降り立った。

【コースタイム】

18日 童子橋10:00~10:59稜線合流点~12:42鍋塚~13:54
鍋塚休憩所~14:42鳩ヶ峰~15:55大江山山頂~16:49鬼嶽
稲荷神社休憩所
19日 休憩所05:47~07:38大江山山の家~07:38二瀬川バス停(タクシー)黒見溪谷平田分岐09:23~09:58登山道入口~12:11郷路岳~14:04林道分岐~15:25栗尾
20日 三岳青少年山の家06:22~08:55三岳山~10:10山の家

【参加者】

重廣恒夫 立野里織 久保和恵 若林朋世 計4名

16-47ゆるやか山行 【里山探訪】
歴史と文化を訪ねる41
可児市 カタクリの群生地と鳩吹山
浦上芳啓

3月30日(木)晴

青春切符で行く遠路の山旅、カタクリの群生地を訪ねてとあり、早くから楽しみに心待ちしていました。早朝の列車は思いのほか混み合って、余裕のない未知の駅での乗り換えを気ぜわしく繰り返し、JR美濃太田駅に着く。

タクシーに乗り継いで可児川が木曾川に合流する下流域の飛騨木曾川国定自然公園に着く。隣接する「湯の華アイランド」を抜けて小さな谷を渡り公園に入る。左に鳩吹山、公園をはさみ右に木曾川の流れ、整備された広大な公園は、大自然の懐に抱かれて、開放的で見るからに清々しい。晴れ渡る空、春休みとあって入口に近い散策路では、花を目当ての人があふれていた。お目当てのカタクリは群生して華麗に咲き誇り、圧巻。しばし見惚れて時を楽しむ。花を離れて公園を奥へと進み、芽吹き間近の梢からこぼれる柔らかな陽射しを受けて、木曾川の流れを横目に、少し早い昼食タイム。

食後はさらに奥へと進み、山に取り付く。角の立つ岩肌が荒々しく続く厳しい急斜を登る。木立が切れた岩上からは、エメラルドグリーンに染まる木曾川の流れを眼下に、田園に絡む街並を、遠巻きに続く山々を、遥かから遥かへと見渡して鳩吹山(313.5m三等三角点・点名天神山)山頂に着く。北東面に開けた展望は、雪を頂いた白山、御嶽山のアルプスの山々や恵那山など。空気が澄んでいれば、くっきり見えることもあるようだが、今日ばかりは霞みがかかり望み無し。尾根に行く心地良い風に癒やされながら山頂を後に。少し下った窪地に立つ東屋を見送り北面へ、急斜のガレ場を下り、公園の入口に程近い散策路に無事下山。湯の華アイランドの無料送迎バスのお世話になり、美濃太田駅に着き解散。



木曾川を眼下に岩場を登る 写真提供：魚津清和

花の開花と天気心配等々、お世話する方のお気遣いは、計り知れないご苦勞があったことでしょうか、只々心より感謝です。有難う御座いました。

【コースタイム】

JR美濃太田駅11:09(タクシー)11:24湯の華アイランド～公園入口～カタクリ群生地～11:54広場・登山口12:37～13:41鳩吹山～14:44公園入口～14:52湯の華アイランド15:17(バス)JR美濃太田駅

【参加者】

久保和恵 山内幸子 新本政子 岩崎しのぶ 魚津清和
浦上芳啓 金井健二 黒田守彦 嶋岡章 助川征 戸島
泰三郎 中島隆 橋本圭之輔 前田正彰 松上美代子
松波幹夫 松村文子 山下政一 岐部明弘 黒岩敦子
中田栄 横山規江 計22名

東お多福山草原復元活動

斧田一陽

平成28年10月15日(土)

当初の活動日は5日であったが、雨天のため翌日に順延された。順延日に参加が適わないため、活動内容も登山道の状況調査だったので別日程で実施した。

土樋割峠から魚屋道を経由して雨ヶ峠、そこから東お多福山頂上までの状況を確認した。

【参加者】 秦康夫 田島聖子 森脇肇子 斧田一陽

計4名

平成28年11月23日(水・祝)

秋の全面刈作業の1回目で、各団体から多数参加があ

った。刈払機を使用できる人が少ないので、当会も1台フル稼働させた。ススキを選択的に刈取り、茅葺屋根に利用するため天日干しにした。昨年のは、芦屋の会下山遺跡の屋根に一部利用されている。今年の収穫物もどこかで利用されることになるだろう。

【参加者】 斧田一陽 猪川誠 田島聖子 森脇肇子

計4名

平成28年12月10日(土)

2回目の秋の全面刈作業。今回も刈払機を駆使して、ほぼ予定の区域を刈払いできた。残りは、早春3月にも実施する。

【参加者】 田島聖子 森脇肇子 斧田一陽

計3名

日本の山岳画 山書にもふれて(その1)

嶋岡 章

1. 江戸時代の山岳画家

ヨーロッパ・アルプスの高峰が悪魔の棲むところと怖れられていたのに反し、日本では古くから山を信仰の対象として慣れ親しんでいた。ウィンパーやセガンティーニが登場する前、日本では江戸時代後期、浮世絵の世界で『富嶽三十六景』葛飾北斎や『富士三十六景』歌川広重が描かれている。

これら浮世絵がフランス印象派のゴッホ、モネ、マネ、ドガ、ルノワール、ゴーギャン、ロートレックらに影響を与えたことはよく知られている。浮世絵は線描画法であり、印象派の絵のほとんどは輪郭線を描かないが、その中において線描で対象を強調することの多かったゴッホ、ゴーギャンやロートレックらに直接影響を与えたことは興味深い。

北斎や広重は富士山の絵が有名だが、谷文晁(1763~1841)は全国を旅して名山を描き『日本名山図會』を著している。当時の山名は現代とは異なっている場合があり、



図1

例えば“在伊勢州員弁郡”とする「百丈岳」(図1)は「錫杖ヶ岳」に比定されている。そのほか「笠置山」は山城

ではなく“在播磨州”とあるので「笠形山」だとする説もあるなど比定論議がつづいていて、これらのことは住谷雄幸著『江戸百名山図譜』(小学館1995)にくわしい。

2. 日本山岳会発足前後の山岳画家

英国の宣教師ウォルター・ウェストンは、1888(明21)年来日し、6年間に日本アルプスはじめ日本各地の山に登り、帰国後『日本アルプスの登山と探検』(J.Murray 1896)を著した。

日本では、1894(明27)年に志賀重昂が『日本風景論』(政教社)を著した。表紙の絵や挿絵を描いているのは、樋畑雪湖という人物で、浮世絵を富岡半六、洋画を川上冬崖に師事した画家である。画風は谷文晁によく似ている。また、この書には洋風木版画の挿絵も掲載されていて、これは海老名明四という人が描いているが、この人の生没年は不明で、経歴もよくわかっていない。そのころの山岳画家たちは、まだ画集や画文集を出すに至らず、山書に挿絵を描く程度だった。

小島烏水は上記2冊にいたく刺激され1905(明38)年、高頭仁兵衛らと日本山岳会を設立し初代会長に就任する。そして1910(明43)年から1914(大3)年にかけて『日本アルプス全四巻』(前川文栄閣)を著す。

本書の中には大下藤次郎(1870~1911)の「西山峠の針葉樹と悪沢山」が収録されている。彼こそが日本におい



図2

て実際に山に登って山の絵を描いた山岳画家のハシリだったのではないかと思う。

現在の岩波文庫版カバーに「穂高山の残雪」(図2)が掲載されている。いずれも水彩画でよくこれだけ写実的な絵が描けるものと感服する。なお彼には『水彩画の栞』(新聲社1901)、という著書があるらしいが、未見なのでどのような本かはわからない。この文庫本には大下藤次郎の

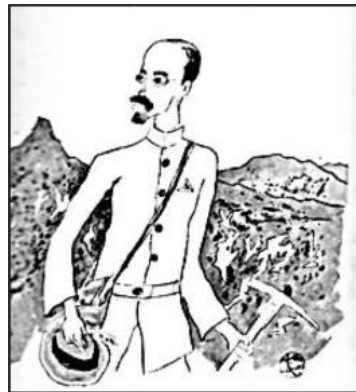


図3

他にも二人の人物の挿絵が入っている。ひとり「信飛越境上の群嶺」を描いている中村清太郎であるが、彼については後述する。もうひとり「茨木猪之吉」で、著者の小島烏水の人物像をマンガチックに描いている(図3)。

田部重治が1919(大8)年に刊行した『日本アルプスと秩父巡礼』(北星堂 後に改定増補され『山と溪谷』と改題)がある。文庫版『山と溪谷』には二人の画家の絵が掲載されている。まず、最初に表紙の絵(図4)を描いている茨木猪之吉である。この絵の左側が著者の田部重治で端正なスタイルと顔立ちである。一方、右側の木暮理

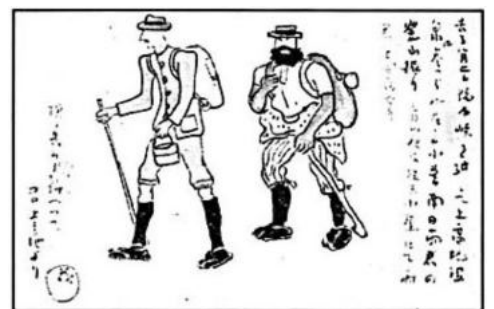


図4

太郎は髭もじゃの山男である。二人の装束が面白い。茨木猪之吉は、カリカチュアライズした似顔絵だけでなく山の絵も描いている。「後立山山脈新越乗越より剣岳及立山の一部を望む」(図5)である。的確なスケッチで非常にリアルである。茨木猪之吉は1944(昭19)年の秋、涸沢小屋を出発し奥穂を越えて平湯に下ったまま消息を絶



図5



図6

った。没15年後に日本山岳画協会の友人・小野幸が遺稿集『山の画帖』(明文社1959)を編纂した。

次に中村清太郎の作品「上高地焼岳」(図6)である。ほかにも「白峰の夕栄え」と「雪溪仰望 小黒部大窓」が掲載されている。なお著書に『山岳渴仰』(生活社1944)がある。どのような本かは

<つづく>

平成29年度(公社)日本山岳会関西支部総会

平成29年4月26日(水) 於：TKP大阪梅田駅前ビジネスセンター

平成28年度関西支部活動報告[抄]

(第1号議案)

会員動向

平成29年3月末で会員245名、準会員1名、会員会友15名、支部会友20名の計281名となった。

平成28年度活動実績について

関西支部設立80周年記念事業の東ネパール登山隊2016は、ナンガマリⅡ峰からⅠ峰への縦走こそならなかったが、10月17日、Ⅱ峰(6209m)の初登頂を山頂に向かった全員がなしとげるといふ快挙がなされた。また1月21日にその報告会が行われ、あらためて登山隊員と共に参加者全員でその喜びを分かち合った。本登山隊の登頂タクティクス等を研究するヒマラヤ登山塾は平成26年度から始まり、最終年度の28年度は7回開催、参加者延べ65名。またPJTトレーニングは平成27年度から開始、最終年度の28年度は6回開催、参加者延べ96名。

もう一つの周年記念事業の支部県境縦走踏査は平成25年1月瀬戸内海から日本海へ、引き続き26年3月より日本海久美浜から太平洋を目指し、28年12月24日に県境縦走終点の太平洋新宮へと達した。瀬戸内海のスタートから4年計45回、参加者延べ874名。着実な成果を残した。

80周年記念募金活動は3月末時点で990

万円の募金があった。支部会員各位はじめ多数の皆様のご協力に謝意を表す。

新たなメニューとして開始した「熊野古道伊勢路シリーズ」は28年7月から11月にかけて5回に亘って実施され、参加者延べ180名。

特別事業補助金制度を活用した若い登山者の技術と登山意識向上のための次世代育成研修は、今回の東ネパール登山の熱が冷めないうちに、またヒマラヤ登山塾の成果を実践していくべく、若い登山者の育成を行っている。

準会員制度の新設等新たな課題に対処するため、支部規約の改正に取り組んだ。現行20数名の役員の負担を多少なりとも軽減し、会員減少に対応するべく会員および準会員、会友の増加を目指し、支部としてもより積極的、重点的に支部運営に取り組む。このためプロジェクトチームを発足させ、支部規約改正に取り組んだ。各委員会の活動の詳細は以下のとおりである。

総務委員会

- ・総会 平成28年4月20日(水)ホテルグリーンプラザ大阪・アネックス 参加者47名。
- ・評議員会 4月13日開催。募金委員会 8月3日 12月21日開催。
- ・委員会 7回開催。
- ・委員長会議(拡大総務委員会含む)6回

開催

- ・支部規約改正プロジェクト
金井支部長、水谷副支部長、茂木副支部長、辻委員、斧田委員 久保委員により、準会員制度の取り込みと組織態勢の見直しも含め、支部規約の改正が5回に亘って議論された。
- ・新年会 平成29年1月21日(土) 梅田大東洋 参加者55名。
- ・【公益事業】山の日関連行事としての第27回藤木祭は10月2日(日) 芦屋・高座の滝前(大阪府、兵庫県各山岳連盟と共催)で実施。

山行委員会

【公益事業】

- ・登山教室 座学・初級・中級・上級合わせて延べ244名が受講。
- ・山の日関連行事「わんぱく探検」天候不良により中止。
- ・レスキュー講座「テーピング実習」を1月28日に実施。

【共益事業】

- ・関西支部県境縦走
関西支部県境縦走は26年3月日本海から太平洋に向かってスタートし、28年12月県境縦走終点の太平洋新宮へと達した。引き続き奈良、三重県の県境縦走を2月に名張から開始。4月から3月まで8回の実施で、参加者延べ94名。

- ・4000山グランプリ
テント泊を伴う難易度の高い山行を中心とし、9回の実施で、参加者延べ132名。
- ・ゆるやか山行【里山探訪】
10回の実施で延べ197名が参加。
他に、しっかり歩こう、熊野伊勢路古道、比良山系登山、陽だまり山行、引率者対象のセルフレスキュー研修会、海外トレッキング等行った。

自然保護委員会

【公益事業】

- ・日本山岳会関西支部本山寺山の森 森林保全活動
「社会貢献の森」協定により活動継続。京都大阪森林管理事務所等関係機関と折衝。活動主体の「本山寺山森林づく

りの会」(会員41名)で保全活動実施。
活動内容 つるきり 枝打ち 枯損木除伐 林床整備 土留め 歩道・作業道整備 育樹していた幼木を植樹 ナラ枯れ防止のタオル・シート巻き
活動日数延べ22日参加者163名。
月2回の定例活動日に雨や雪の日が多く延期や中止が多かった。

- ・東お多福山ススキ草原保全・再生活動
東お多福山草原保全・再生研究会(9団体の協働活動)でススキ草原保全・再生活動
活動内容 全面刈、植生調査と保全作業(登山道調査担当)、ガイド養成講座、定例会・総会等
活動日数延べ21日 参加者40名

- ・やまみち保全巡視活動
本山寺山保全活動日に隣接の東海自然歩道・里道の保全活動
東お多福山ススキ草原保全活動日に登山道調査・保全活動
- ・自然観察会 3回計画したが、雨天及び参加者不足のため中止
- ・第20回森の勉強会(東海、京都・滋賀、関西各支部自然保護委員会共催28年度関西支部担当)
11月5～6日 奈良県桜井市 天然記念物与喜山暖帯林 参加者10名
- ・自然保護全国集会 7月16～17日 高知市 牧野記念植物園地見学他 参加者8名
- ・環境省近畿環境事務所関係

スケッチ同好会 例会のご案内と報告

第18回 【案内】

日時 平成29年7月24日(月)雨天順延
集合 JR姫路駅中央改札口前 9時30分
行先 書写山 圓教寺周辺
申込 平成29年7月17日(月)迄 播戸日出生
E-mail: hbando4212@nifty.com
電話 06-6357-5960

第19回 【案内】

日時 平成29年9月11日(月)小雨決行
集合 阪急嵐山駅 改札口前 10時
行先 嵐山界限
申込み 9月4日(月)迄 松上美代子
電話・FAX 06-6696-5544
備考 弁当、飲み物持参のこと

共通事項

持ち物 水彩画を主とする画材一式、カメラ、折り畳み椅子、雨具など 詳細は後日、参加者に連絡

【報告】 第15回

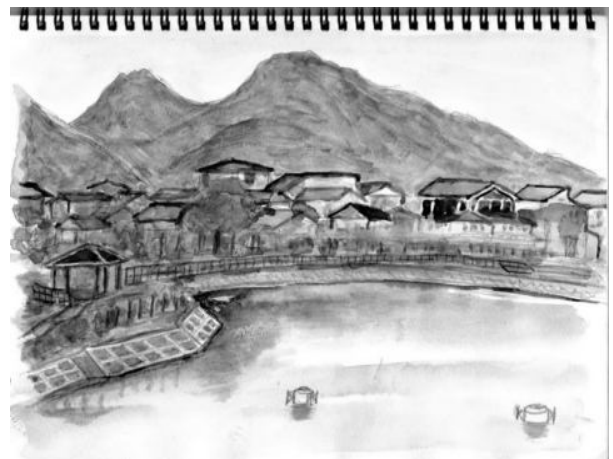
日時 平成29年1月16日(月)10:00～15:00
行先 妙見口周辺と吉川神社・黒川集落
【参加者】野村哲夫 大塚和子 岡田輝子 金井良碩 久保和恵 河野直子 薦田佳一 横山規江 計8名

【報告】 第16回

日時 平成29年3月6日(月) 10:00～15:00
行先 近鉄尺土駅周辺
【参加者】岩崎しのぶ 浅田博三 岡田輝子 金井良碩 久保和恵 河野直子 薦田佳一 嶋岡章 野村哲夫 播戸日出生 松上美代子 森沢義信 横山規江 計13名



雪景色に魅せられて-妙見の里 画：薦田佳一



尺土近隣公園より二上山 画：森沢義信

大台ヶ原の利用に関する協議会 奈良市 11月30日 3月3日 参加者延べ2名
図書委員会

- ・【公益事業】山の日関連行事
 「著者と語る会」11月26日(土)大阪府立中央図書館 参加者37名
 演題「インドヒマラヤをめぐる」
 講師：沖 允人氏(東海支部)
- ・蔵書の整理 会員の協力を得て9月より5回に亘って実施。蔵書リストの再整備及び蔵書の配架をテーマ別に再構成。
- ・寄贈図書受入れ 支部報に記載。

広報委員会

支部報関連、HP関連で6回の委員会を開催。支部報は164号～167号を発行。

その他

- ・スケッチ同好会
 5回実施 参加者延べ61名。
 第1回目のグループ展を28年4月12～16日に亘って開催
 - ・水曜会
 10回実施 参加者延べ91名
- 以上

~~~~~  
**平成28年度会計報告**〔別掲〕  
 (第2号議案)  
 ~~~~~  
関西支部規約改正
 (第3号議案)
 ~~~~~

**関西支部規約改正の趣旨**

平成28年10月より準会員制度が施行されたことにより、関西支部規約を改正する必要が生じました。同時に、以下の理由により関西支部の組織形態を変更し、会友制度の改正も行います。

現在、関西支部では運営及びすべての業務を役員で賄っております。この30年来役員数は二十数名と大きく変わっておりませんが、業務内容は大幅に増えております。さらに役員も高齢となり、個人あるいは家庭の事情等により、一時的あるいは長期にわたり業務を遂行できない状況も生じております。

これらのことから役員ひとり一人の負担が大きくなっている状況にあります。役員を補充するには総会の決議が必要であり、そのために総会を開催することも現実的ではありません。

これらのことを踏まえ、運営に携わる者(役員)と業務を実施する者(委員)に分

けることにより、ひとり一人の負担軽減を図るべく、関西支部の組織形態の変更を提案するものであります。

また、平成24年4月より会友制度が導入されましたが、会友の活動率は高く、これらの方々のご協力を仰ぐことにより、より一層の支部活動の発展が期待できます。

**関西支部組織図(案)〔省略〕**  
**関西支部規約改正**〔別刷〕

~~~~~  
平成29・30年度役員及び監事選出
 (第4号議案)
 ~~~~~

**平成29・30年度役員候補**

委員会は改正された新「関西支部規約」に法り、平成29・30年の役員および監事に下記の会員を推薦いたします。

|       |              |
|-------|--------------|
| 支 部 長 | 金井良碩 (6988)  |
| 副支部長  | 水谷 透 (9582)  |
| 同     | 茂木完治 (13568) |
| 理 事   | 新本政子 (6550)  |
| 同     | 斧田一陽 (8203)  |
| 同     | 野口恒雄 (10594) |
| 同     | 辻 和雄 (10624) |
| 同     | 久保和恵 (13459) |
| 同     | 野村珠生 (13566) |
| 同     | 黒田記代 (14591) |
| 監 事   | 宗實慶子 (5008)  |
| 同     | 中村久住 (6814)  |

~~~~~  
平成29年度関西支部活動方針〔抄〕
 (第5号議案)
 ~~~~~

平成28年10月に施行された準会員制度により、若い支部会員の増強を計るとともに、特別事業補助金制度を活用する等により、若手会員及びリーダーの育成に努める。

準会員制度を支部規約へ盛り込む支部規約の改正に伴い、支部の組織変更を行いより多くの会員、会友に業務に協力していただく体制を目指す。

また、支部設立80周年記念事業の「東ネパール登山隊2016」の報告書を発刊し、記念事業を完結する。

**各委員会の活動方針の詳細は以下のとおりである。**

**総務委員会**

- ・会員の親睦と情報交換の場として、総会、新年会を継続実施する。
- ・組織の充実を目指し、各種会議および

- 各委員会活動との連携と効率化を図る。
- ・支部規約の改正を実のあるものとし、会員増に結ぶべく活動する。
- ・夏季懇談会の開催(予定)
- ・新年会 平成30年1月開催(予定)
- ・総務委員会 適宜開催する
- ・【公益事業】藤木祭(山の日関連行事)
- ・第28回藤木祭は平成29年10月1日(日)開催予定 芦屋・高座の滝前。

**山行委員会**

- ・若手育成・リーダー養成を兼ねた「登山教室」を継続して開催する。
- ・関西支部エリアの「県境縦走」は瀬戸内海から日本海へ、さらに日本海から太平洋への縦走は一段落したが、新たに奈良、三重県境の縦走を続ける。
- ・難易度の高い「4000山グランプリ」、ゆっくり歩く「ゆるやか山行」等山行の充実を図り、幅広い層の参加者を募り、会員の掘り起こしと共に会員、準会員、会友の増加に努める。
- ・会員の体力や技術力アップのための山行や講習を行う。
- ・引率者対象のセルフレスキュー研修会を行う。
- ・登山計画書提出、緊急連絡カードの携行を励行する。
- ・山行委員会 適宜開催する

**具体的な活動計画**

**【公益事業】**

- ・登山教室の開講 初級(地図とコンパスの習熟)、中級(六甲の沢)、上級(岩登りの初歩、沢、積雪期登山) 毎月1回
- ・「山の日」関連行事 「わんぱく探検」 年1回
- ・レスキュー講座「ロープワーク」 年2回

**【共益事業】**

- ・県境縦走(奈良・三重県境) 毎月1回
- ・4000山グランプリ毎月1回
- ・ゆるやか山行 毎月1回(7・8月除)
- ・しっかり歩く山行(体力増強) 年8回程度
- ・沢例会 年1回
- ・その他 スキー・四国支部との交流登山・海外トレッキング等

**自然保護委員会**

**【公益事業】**

- ・日本山岳会関西支部本山寺山の森 森林保全活動
- ・近畿中国森林管理局長との「社会貢献の森」協定締結を得て6年目。「本山寺

- 山森林づくりの会」を主体として活動。
- 森林・山村多面的機能発揮交付金申請による定例活動を主とする。(月2回)約5haを枝打ち、枯損木除伐、林床整備、作業道保全等
- ・東お多福山草原保全・再生活動  
東お多福山草原保全・再生研究会でスキ草原保全・再生活動
- 春・夏・秋の植生調査と保全作業、全面刈り作業 (3回)
- ・やまみち保全巡視活動  
本山寺山森林づくり活動時に隣接の東海自然歩道を保全整備
- 東お多福山登山道整備、観察路開設の検討
- ・自然観察会  
春-東お多福山、秋-大台ヶ原、冬-本

- 山寺山(予定)
- ・自然保護全国集会  
7月9～10日 岐阜県 伊吹山
- ・大台ヶ原の利用に関する協議会  
12～3月 奈良県 2回(予定)
- ・自然保護委員会 7月、1月  
各第1金曜日

**図書委員会**

- ・【公益事業】「著者と語る会」 山の日 関連行事として開催する。
- ・蔵書の整理 支部ルームの蔵書の整理を継続し、活用策を検討する。
- ・寄贈図書受入れ。

**広報委員会**

- ・支部報168号～171号、各号22頁 400部で刊行予定。
- ・HP運営計画 順次レイアウト等の改

- 訂作業を実施したい。
  - ・その他  
行事報告記事の圧縮化。  
事業報告記事と会員からの投稿原稿掲載の二本立てを確立したい。  
HP保守担当者の確保。
  - その他
  - ・スケッチ同好会 奇数月に開催、グループ展の開催
  - ・水曜会 毎月適宜水曜日に開催
- 以上

平成29年度会計予算〔別掲〕  
(第6号議案)

**平成28年度支部会計報告**

**平成28年度一般会計収支報告**

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)[第2号議案1]

| 収入の部          |           | 支出の部         |           |
|---------------|-----------|--------------|-----------|
| 前年度繰越金        | 257,981   | 府岳連会費        | 15,000    |
| 本部運営交付金(191名) | 191,000   | 借室費・集会費      | 625,752   |
| 本部事業助成金(191名) | 248,300   | 通信費          | 93,218    |
| 入会金報奨金(15名)   | 60,000    | 事務用品費        | 53,022    |
| 支部会費(232名)    | 726,000   | 支部報          | 497,653   |
| 支部報広告掲載料      | 160,000   | 送金手数料        | 32,228    |
| 事業収入          | 1,442,482 | 旅費交通費        | 24,684    |
| 受取利息          | 1         | 事業費          | 1,331,103 |
| 支部特別事業補助金     | 150,000   | 雑費           | 18,206    |
| 新日本山岳誌執筆料寄付   | 2,490     | 大阪府岳連海外遠征寄付金 | 100,000   |
|               |           | 特別会計繰越金      | 0         |
|               |           | 年度繰越金        | 447,388   |
| 合計            | 3,238,254 | 合計           | 3,238,254 |

**貸借対照表(平成29年3月31日現在)[第2号議案2]**

| 資産の部 |           | 負債及び正味財産の部 |           |
|------|-----------|------------|-----------|
| 現金   | 31,214    | 剰余金        |           |
| 銀行預金 | 32,018    | 内 訳        |           |
| 郵便貯金 | 384,156   | (一般会計)     | 447,388   |
| 金銭信託 | 3,190,691 | (特別会計)     | 3,190,691 |
|      |           | (ルーム運用金)   | 0         |
| 合計   | 3,638,079 | 合計         | 3,638,079 |

本日会計監査を行い、正確であることを認めました。

2017年4月19日

公益社団法人日本山岳会関西支部

監事 中島 隆 (印)  
監事 中村 久住 (印)

**平成29年度一般会計収支予算〔第6号議案〕**

| 収入の部          |           | 支出の部    |           |
|---------------|-----------|---------|-----------|
| 前年度繰越金        | 447,388   | 府岳連会費   | 15,000    |
| 本部運営交付金(200名) | 200,000   | 借室費・集会費 | 700,000   |
| 本部事業補助金(200名) | 200,000   | 通信費     | 100,000   |
| 入会金報奨金(15名)   | 60,000    | 事務用品費   | 55,000    |
| 支部会費(230名)    | 690,000   | 支部報     | 520,000   |
| 支部報広告掲載料      | 196,000   | 送金手数料   | 30,000    |
| 事業収入          | 1,585,000 | 旅費交通費   | 30,000    |
| 受取利息          | 5         | 事業費     | 1,535,000 |
| 支部特別事業補助金     | 150,000   | 雑費      | 30,000    |
|               |           | 予備費     | 513,393   |
|               | 3,528,393 | 合計      | 3,528,393 |
| 合計            | 3,528,393 | 合計      | 3,528,393 |

**「登山計画書(届)」の提出先変更**

役員の改選に伴い、「登山計画書(届)」は下記に提出してください。

|       |      |                       |
|-------|------|-----------------------|
| 支 部 長 | 金井良碩 | kanai-y@w4.dion.ne.jp |
| 副支部長  | 水谷 透 | jacmztn@yahoo.co.jp   |
| 同     | 茂木完治 | yib03510@nifty.com    |
| 山行委員長 | 黒田記代 | kuroda2822@kcn.jp     |

山行委員会



## Room日録 2017年

2月6日(月) 財務委員会

9日(木) 海外登山隊報告書打合せ  
規約改正PJ

13日(月) 有志懇談会

14日(火) 80周年募金事務

15日(水) 水曜会

20日(月) 入会希望者面談

26日(日) 海外登山隊報告書打合せ

3月1日(水) 登山教室打合せ

2日(木) 80周年募金事務

5日(日) 総会議案書作成

7日(火) 支部四役会議

8日(水) 特別事業補助金報告作成

9日(木) 支部決算書作成打合せ

3月13日(月) 会計事務引き継ぎ

スケッチ同好会

財務委員会

14日(火) 支部事務業務

15日(水) 支部報発送

23日(木) 図書委員会

24日(金) 特別事業補助金報告作成

27日(月) 80周年募金事務

海外登山会計打合せ

28日(火) 特別事業補助金報告作成

本山寺山森林づくりの会

29日(水) 会計事務

4月3日(月) 80周年募金事務

本山寺山森林づくりの会

4日(火) 会計事務

80周年募金事務

4月10日(月) 財務委員会

11日(火) 本山寺山森林づくりの会

12日(水) 委員長会議

13日(木) 登山史研究会

17日(月) 本山寺山森林づくりの会総会

18日(火) 支部事務業務

19日(水) 会計監査

支部評議員会

20日(木) 本山寺山森林づくりの会

海外登山隊報告書打合せ

22日(土) ロープワーク講習会

25日(火) 総会準備

入会希望者面談

28日(金) 海外登山会計報告打合せ

## 受贈一覧

(2017.2.1~2017.4.30受理分)

山岳大阪 No.212(別冊共) 大阪府  
山岳連盟

登山月報 第574, 575, 576号 日本山  
岳協会

日本山岳会「高尾の森」通信 vol.65

兵庫山岳 第596, 597, 599号 兵庫県

山岳連盟

日本山岳会支部報

・青森支部報 第17号

・群馬支部報 第5号

・埼玉支部報 第20号

・千葉支部だより 第38号

・[東京] たま通信 第27, 28号

・富山支部会報 第104号

・福井支部報 第30号

・甲斐山岳 第9号

・岐阜山岳 第81号

・[京都・滋賀]支部だより No.126

・[山陰支部] きゃらぼく 第12号

・JAC Hiroshima 第63号

・JAC北九だより 第79, 80号

・熊本支部報 第39号

・東九州支部報 第76号

・宮崎支部報 第60号

## 平成29・30年度 役員・委員名簿

支 部 長：金井良碩(6988)

副支部長：水谷透(9582)、茂木完治  
(13568)

本部連絡(事務局長)：[理事]辻和雄  
(10624)

総 務：[理事]新本政子(6555)

[委員]高木知子(6550武庫川女子大  
鳴松山岳会)、釘本武昌(13975)、岩  
崎しのぶ(14159)、山田健(14587)、  
村田かおり(14595)、田中アキエ  
(90016会友)、若林朋世(90020会友)

財 務：[理事]野村珠生(13566)

[委員]岩崎しのぶ(14159)、岡田  
輝子(15763)

山 行：[理事]黒田記代(14591)

[委員]山内幸子(10380)、久保和  
恵(13459)、小黒節郎(14331)、竹  
中雅幸(15458)、竹森壮孝(16035)、  
阪上茂生(A0003準会員)、青木昭  
(90013会友)、若林朋世(90020会  
友)

自然保護：[理事]斧田一陽(8203)

[委員]阪下幸一(9012)、大津陸郎  
(11111)、河野直子(11478)、井上  
達男(13000)、武田壽夫(14003)、  
薦田佳一(15107)、石原順子(15394)、

田島聖子(15816)、森脇肇子(90026  
会友)

図 書：[理事]久保和恵(13459)

[委員]山内幸子(10380)、野口恒雄  
(10594)、嶋岡章(11777)、森沢義  
信(13788)、薦田佳一(15107)、横  
山規江(90006会友)

広 報：[理事]野口恒雄(10594)

[委員]松波幹夫(12791)、久保和恵  
(13459)、加藤芳樹(14413)、岡田  
輝子(15763)

監 事：宗實慶子(5008)、中村久住  
(6814)

## 2017年度7月~9月 支部山行計画

※申込みは、最後尾の宛先に行ってください【いずれも締切厳守】

17-14 4000山グランプリ

「赤堂山1059mから多子津山1311m」

日 時：7月1日(土)・2日(日)

コース：金沢駅=刀利ダム~赤堂山~月ヶ原山~多子

津山～刀利ダム＝金沢駅

地 図：2.5万分の1「湯涌」「西赤尾」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください

難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須

申込み：6月20日迄(担当：重廣恒夫)

**17-15 関西支部県境縦走51**

日 時：7月8日(土)・9日(日)

コース：前月の進捗状況によりコースが決まります  
HP等で確認してください

備 考：詳しくは申込者に連絡します

申込み：6月23日迄(担当：黒田記代)

**17-16 しっかり歩こう**

「大野山から弥十郎ヶ嶽」

日 時：7月22日(土)

コース：日生中央＝柏原～大野山～後川～弥十郎ヶ嶽  
～後川または杉生新田バス停集 合：能勢電日生中央駅改札口 7時50分  
8時1分発 柏原行バス乗車

地 図：2.5万分の1「木津」「福住」

備 考：地図を見ながら約20kmを7時間程度で歩く  
暑い時ですからコースを変更する場合もあり  
少雨決行

申込み：7月13日迄(担当：山内幸子)

**17-17 ロープワーク講習**

「初心者のためのロープワーク」2回目

日 時：7月23日(日)

場 所：支部ルーム

持ち物：お持ちのロープ、スリング、カラビナ、ハー  
ネス等備 考：初心者対象の机上講習です  
各個人の疑問点・問題点に対応します

申込み：7月14日迄(担当：黒田記代)

**17-18 4000山グランプリ**

「八尾山1101m」

日 時：7月29日(土)・30日(日)

コース：下呂駅＝茂谷(沢登り)八尾山～愛宕＝下呂駅

地 図：2.5万分の1「下呂」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください  
難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須

申込み：7月19日迄(担当：重廣恒夫)

**17-19 関西支部県境縦走52**

日 時：8月19日(土)・20日(日)

コース：前月の進捗状況によりコースが決まります  
HP等で確認してください

備 考：詳しくは申込者に連絡します

申込み：8月14日迄(担当：黒田記代)

**17-20 4000山グランプリ**

「船山1479m」

日 時：8月26日(土)・27日(日)

コース：飛騨小坂駅＝岩崎谷(沢登り)船山～久々野駅

地 図：2.5万分の1「位山」「飛騨小坂」「久々野」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください  
難易度の高い山 テント山行 一般参加可  
山岳保険加入が必須

申込み：8月16日迄(担当：重廣恒夫)

**17-21 海外トレッキング**

「ジャワ島最高峰 スメル山・イジェン火山」

日 時：8月30日～9月7日 9日間

コース：スラバヤ＝ラヌパニ～ラヌクンボロ～スマル  
山登山～ラヌパニ＝プロモ山展望ハイキング  
＝青い炎揺れるイジェン山ハイキング

備 考：詳しくは申込者に連絡します

申込受付中：アルパインツアーサービス株式会社

Tel：06-6444-3033 担当：大島、竹森

**17-22 関西支部県境縦走53**

日 時：9月16日(土)・17日(日)

コース：前月の進捗状況によりコースが決まります  
HP等で確認してください

備 考：詳しくは申込者に連絡します

申込み：9月2日迄(担当：黒田記代)

**17-23 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く4**

「大原野神社から渡月橋まで」

日 時：9月21日(木)

コース：阪急東向日駅＝南春日町バス停～大原野神社  
～花の寺～沓掛～桂坂公園～西芳寺～松尾大  
社～渡月橋～阪急嵐山駅

集 合：阪急東向日駅改札口前 8時30分

地 図：2.5万分の1「法貴」「京都西南部」「京都西北  
部」

備 考：歩行距離 約11km 歩行時間 約4時間

申込み：9月14日迄(担当：久保和恵)

**17-24 しっかり歩こう 比叡山縦走**

「大尾山から横高山・比叡山へ」

日 時：9月24日(日)

コース：三千院～大尾山～仰木峠～横高山～大比叡～  
雲母坂～修学院

集 合：出町柳駅前バス停 7時50分  
 7時57分発 大原行バス乗車  
 地 図：2.5万分の1「大原」[京都東北部]  
 備 考：地図を見ながら約25kmを歩く  
 場合によりコース変更もあり  
 申込み：9月15日迄(担当：山内幸子)

**17-25 4000山グランプリ**

「四国の山 今ノ山・妹尾山」  
 日 時：9月30日(土)・10月1日(日)  
 備 考：詳しくは担当者に問い合わせてください  
 一般参加可 山岳保険加入が必須  
 申込み：9月20日迄(担当：重廣恒夫)

**各山行は**

担当者もしくは支部宛にお申し込みください  
 e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

**ステップアップ登山教室 一般対象 募集中**

**1stステップ**

初級 7月22日(土) 細尾谷～金剛山～セト～黒梅谷道  
 中級 7月4日(火) 逢山峡～長尾谷～猪ノ鼻滝  
 上級 7月27日(木) 不動岩周辺

**2stステップ**

初級『地図とコンパスの使い方の習熟』  
 8月3日(木) 座学「地図とコンパスの見方・使い方」  
 9月2日(土) 蜻蛉の滝公園～青根ヶ峰～宮滝  
 中級『六甲・沢歩き』  
 8月3日(木) 座学「地図とコンパスの見方・使い方」  
 9月12日(火) 三ツ下谷～石楠花山～三ツ谷  
 上級『岩登り・沢の初歩・雪山の初歩』  
 8月3日(木) 座学「地図とコンパスの見方・使い方・  
 沢登りの基礎知識」  
 9月28日(木) 金剛山系 青谷

**2017年7月～9月 自然保護行事案内**

- 1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)  
 活動日：7月6日(木)・16日(日)・8月3日(木)・20日(日)・  
 9月7日(木)・17日(日)  
 体験作業参加・本山寺山森林づくりの会入会 歓迎
- 2 東お多福山ススキ草原復元活動  
 ・7月19日(水) 夏の植生調査と管理作業  
 ※東お多福山ガイド付ハイキング受付けます
- 3 自然観察会  
 ・7月19日(水) 東お多福山 夏の自然観察と作業体験

- 4 やまみち巡視保全活動  
 ・7月19日(水) 東お多福山・雨ヶ峠登山道  
 ・8月20日(日) 「本山寺山の森」自然歩道
- 問い合わせ・申込み先  
 斧田一陽 TEL&FAX 072-633-6556/090-4037-4542  
 ※締め切り：開催日の一週間前まで  
 ※集合：本山寺山の森 JR高槻駅北口アルプラザ前  
 東お多福山 阪急芦屋川駅前  
 いずれも午前8時50分

〈編集後記〉

☆支部規約改正に伴い新体制が発足しました。準会員や会友も支部活動を推進する委員に加わることが可能となります。十年ほど前に体制改革の提案がなされましたが、「ローマは一日にしてならず」機が熟してきたことに夢がもてます。

☆以前、山に因んだ音楽について連載し、好評を得ました。本号から『日本の山岳画-山書にもふれて』を連載します。ぜひ皆様楽しんでいただきたいと思います。

(久保)

発行日 2017(平成29)年6月10日  
 発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室  
 公益社団法人 日本山岳会関西支部  
 e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp  
 郵便振替口座 00930-6-55950  
 発行者 金井良碩  
 編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄  
 制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



**SUNDAY AFTERNOONS™**

UPF50+  
SHADE YOURSELF

・日焼け&熱中症予防に  
 ・サイドメッシュで涼しい

**98%以上の紫外線カット機能付!**

**アドベンチャーハット (全9色)**

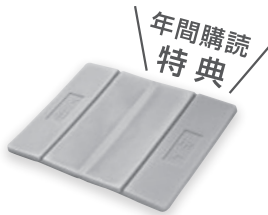
関西の登山専門店取り扱い中!  
 (株)ケンコー社 06-6374-2788 **¥4,900+税**

山岳雑誌 **岳人** 毎月15日発売

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「**岳人**」

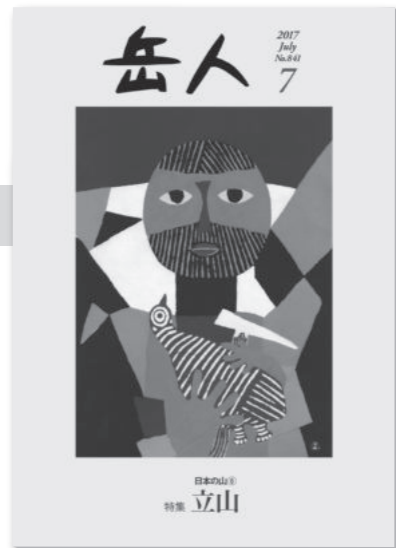
▶年間購読がおすすりめです

購読割引 送料無料 限定品プレゼント  
お得な価格で毎月お手元に冊子をお届けします。



通常価格12冊 年間購読なら12冊  
**8,160円** → **7,480円** (税込8,122円) (税込8,078円)  
1冊分 **680円** おトク!

座布団として使える!  
折り畳みパッドプレゼント  
サイズ:縦33×横26cm / 重量:33g



年間購読お申し込み方法 WEB <http://www.gakujin.jp> モンベルポスト ☎ 0120-982-682 / TEL 06-6538-5797 モンベルストアでも受付中

〒606-8161  
京都市左京区二乗寺木ノ本町15

**ナカニシヤ出版**

TEL 0757230111  
FAX 0757230095

表示は本体価格です。

日本山岳会 110周年記念出版



菊判 2016頁 写真・地図多数 上製クローズ装・函入り  
日本山岳会編者 18,000円  
日本山岳会が脚で調査した、日本全国四〇〇〇山の最新情報を網羅した山岳百科事典を10年ぶりに改訂。地形や登山道の変化、地名変更、標高数値などを改訂。

**改訂新日本山岳誌**



奈良盆地周辺から、室生・俱留尊など中部の山々、世界遺産の奥高野・大峰山系・台高山系などの近畿主尾根の山脈まで172山・92コース。美しいカラー写真と地図で丁寧に案内。

**奈良名山案内**

A5判 208頁  
オールカラー  
写真・地図多数  
2,000円

世界遺産の峰めぐり

小島誠孝ほか編著



京都府の339の山を实地踏査して、登路を含めて解説。主な山には概念図・写真を加えた、京都の山の最も詳しい案内書。カラー・口絵写真、標高100m以上全三角点を掲載。

**京都府山岳総覧**

A5判 272頁  
口絵カラーほか  
写真・地図多数  
2,200円

京都府339山案内

内田嘉弘・竹内康之 編著



大阪の山々はそれぞれに歴史があり、個性に富んでいる。バスや電車を利用して家族づれで登れるコースばかり、一〇〇山、一〇〇コースを選んだウォーキングガイド。

**大阪の山歩き100**

A5判 184頁  
オールカラー  
写真・地図多数  
1,800円

街中から気軽に楽しむ山歩きガイド

清水 満 著

【山旅専門の旅行会社】アルパインツアーからのご案内

憧れのアシニポイン・ロッジ滞在ハイキングとパンフ 7日間

ロッキーの秀峰 Mt.アシニポインを目の前にのぞむ「アシニポイン・ロッジ」に3連泊。ロッキーの大自然の中でハイキングを楽しみます。

【旅行期間】7/22(土)~7/28(金)

【旅行代金】¥498,000 (東京発着)



▲Mt.アシニポイン(左奥)のぞむ

米国本土最高峰Mt.ホイットニー登頂とデスバレー国立公園 10日間

憧れのジョン・ミューア・トレイルのハイライト部分を歩き、往復5泊6日でアメリカ本土の最高峰 Mt.ホイットニーの頂を目指します。

【旅行期間】8/1(火)~8/10(木)

【旅行代金】¥698,000 (東京発着)



▲Mt.ホイットニーの山頂(左奥)を目指す

~山旅で自分だけのとっておきの一枚を残そう!~

山旅フォト倶楽部机上講座 入場無料・予約制

■日時: 6月28日(水) 13:30~17:00

■会場: 大阪科学技術センター6階 605号室

実際にアウトドアフィールドで撮影された写真を作例に、カメラの基本操作(露出や色温度など)をはじめ、感動した光景を写真に表現するテクニックをお伝えします。さらに星空やオーロラ撮影のための簡単な撮影方法や野外撮影で役立つ装備についてもご紹介します。ぜひお気軽にご来場ください。【※当日は一眼レフカメラをご持参ください。(デジタルに限る)】



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 ② ポスト保証会員

**アルパインツアーサービス株式会社**

大阪 06-6444-3033

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3(TCF肥後橋ビル2階)